# 日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院

■ 開設者 日本赤十字社 社長 ■ 開設年月 昭和28年7月20日

■管理者院長橋□陽二郎

■ 幹部職員 副院長 渡邊 俊之 副院長 竹内 壯介 事務部長 倉辻 智 薬剤部長 本多 秀俊

看護部長 吉村 美樹

■ 所 在 地 東京都大田区中央 4-30-1

■ 電話番号 03-3775-3111 ■ FAX 03-3776-0004

■ ホームページ https://omori.jrc.or.jp/ ■ メールアドレス soumu@omori.jrc.or.jp

■ 基本理念 信頼され心あたたまる病院

■ 基本方針 1 安全で質の高い医療を提供します

2 救急医療を充実し地域医療に貢献するよう努めます

3 災害救護に積極的に取り組みます

4 経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します

5 医療従事者の教育と研修を推進します

6 ワークライフバランスを尊重した職場環境の整備を進めます

# ■ 患者さまの権利

1 適切な医療を公平に医療提供者と相互協力のもとで受ける権利があります

2 病気、検査、治療、見通しなどについて、十分な説明と情報を受ける権利があります

3 治療法などを自らの意思で選択する権利及び医療を拒否する権利があります

4 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります

5 自分の診療記録の開示を求める権利があります

6 個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

■ こどもの権利 1 人として大切にされ、自分らしく生きる権利

2 こどもにとって一番よいこと (最善の利益) を考えてもらう権利

3 安心・安全な環境で生活する権利

4 病院などで親や大切な人といっしょにいる権利

5 必要なことを教えてもらい、自分の気持ち・希望・意見を伝える権利

6 希望どおりにならなかったときに理由を説明してもらう権利

7 差別されず、こころやからだを傷つけられない権利

8 自分のことを勝手にだれかに言われない権利

9 病気のときも遊んだり勉強したりする権利

10 訓練を受けた専門的なスタッフから治療とケアを受ける権利

11 今だけでなく将来も続けて医療やケアを受ける権利

# ■ 患者さまにお守りいただく事項

- 1 ご自身の症状や体調に関して、できる限り正確な情報をご提供ください
- 2 医療に関する説明のなかで、理解できないことについて理解されるまでご質問ください
- 3 他の患者さまへの治療に支障を及ぼさないよう、また、他の人への迷惑にならないよう 病院のルールをお守りください
- 4 医療行為については、納得されたうえで指示に従っていただきお受けください
- 5 診療記録の開示については、病院が定める手続きに従っていただきます

# ■ 診療科目

呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科(腎高血圧内科) 神経内科(脳神経内科) 外 科 形成外科 乳腺外科 呼吸器外科 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 麻酔科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産科・婦人科 眼 科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 緩和ケア内科 病 理診断科 臨床検査科

■ **許可病床** 一般 340 床 (ICU・CCU6 床/HCU12 床/緩和ケア 13 床を含む)

■ **診療時間** 平日午前9時00分~午前17時00分

■ 受付時間 午前 8 時 30 分~午前 11 時 00 分 ※終了時間は、診療科によって異なる場合あり

■ 休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始 12月 29日から 1月3日

■ 夜間・休日診療 当院は二次救急施設として、夜間・休日の救急診療を行っています。

**■ 面会日•時間** 午後2時~午後7時

■ 診療に従事する医師 (2025年5月1日現在)

呼吸器内科 太田智裕 太田宏樹 久保美樹

循環器内科 奥田純 安部開人 神原かおり 島田基 中原千佳 中島良太 安原容子 堀内優 西山陽一朗 三枝雄樹 大岡昂

消化器内科 井田智則 千葉秀幸 新倉利啓 有本純 中岡宙子 須藤拓馬 高栁卓矢 海老澤佑 林映道 飯田敏史 寺一稜介 赤瀬夢つみ 廣畑愛 髙橋耕平 片山大暉 鹿野島健二

血液内科 德重淳二 岡村玲子 石原晋

糖尿病•内分泌内科 岡田健太 伴光帆奈美 小糸進太郎 岩田葉子

腎臓内科 澁谷研 馬場健寿 北地大祐 高野珠衣 山本一彦 庄田宏文

脳神経内科 鈴木葉子 川上真吾 堀賢太郎 深浦将太 趙顕一 花岡謙 石谷直貴 金森祐芽 椎尾三保子

緩和ケア内科 茅根義和

外 科 橋□陽二郎 渡邊俊之 日吉雅也 森園剛樹 浦辺雅之 木谷嘉孝 岩本美樹 寺井恵美 長谷川由衣 深井隆弘 鈴木真美 鈴木規之

形成外科 井上真梨子 櫻井透 出口祐樹

乳腺外科 岩本美樹 鈴木規之

呼吸器外科 中村雄介 中尾啓太 濱中瑠利香

心臓血管外科 渡邉嘉之

整形外科 大日方嘉行 飯田泰明 松岡修平 奥山興希 江里彰大 槇田智史 宍倉豆

脳神経外科 磯島晃 荒川秀樹 柳澤毅 本間彩加 中前敦介 渡久地莉奈

**麻 酔 科** 市川敬太 大戸浩峰 深川亜梨沙 渡邊翔 田中志歩 萩原早希 本村瑞貴 赤星祥子 大越一毅

精神科 柴山雅俊 諏訪浩

小 児 科 大沼健一 鈴木潤一 岩間元子 石毛美夏

皮 膚 科 日比野のぞみ 武山紘子

泌尿器科 大塚幸弘 浅野桐子 下澤佑揮

产星 婦 人 科 堀越嗣博 田岡英樹 斎藤一 渡辺衣里 星千尋 柴田華 内出一郎 北村衛

眼 科 毛塚由紀子 伏屋一樹 有馬丈博 内匠秀尚 北原江

耳鼻咽喉科 松根彰志 佐藤一樹 香中優美 中阿地啓悟 濱中啓裕

リハビリテーション科 竹内壯介

放射 線科 山崎悦夫 片山貴 木之田葵 宮地樹里 德橋雅子 佐藤洋子 林賢子

救 急 科 荒川秀樹 佐藤拓也 佐藤悠子 若山功 進藤俊介 中野裕幸 木村徳秀

有田和亘 高井大輔

病 理診 断部 坂本穆彦 河内洋 根本哲生 飯原久仁子 北川昌伸 高澤豊

内 視 鏡 部 千葉秀幸

健 診 部 神原かおり 中岡宙子

医療社会事業部 渡邊俊之

#### ■ 指定医療等

保険医療機関、生活保護法指定医療機関、指定自立支援医療機関(更生医療・育成医療・精神通院医療)、母子保護法に基づく指定養育医療機関、被爆者-般疾病医療機関、労災保険指定医療機関、結核指定医療機関、難病医療費助成指定医療機関、小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関、公害医療機関、入 院助産医療機関、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関

■ 施設基準

▼基本診療料 医療 DX 推進体制設備加算 一般病棟入院基本料 総合入院体制加算3 救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算3 医師事務作業補助体制加算2急性期看護補助体制加算 看護職員夜間配置加算 療養環境加算 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室管理加算1 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算1 感染対策向上加算1 患者サポート体制充実加算 重症患者初期支援充実加算 報告書管理体制加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ハイリスク妊娠管理加算 ハイリスク分娩管理加算 地域連携分娩管理加算 呼吸ケアチーム加算 術後疼痛管理チーム加算 後発医薬品使用体制加算1 バイオ後続品使用体制加算 病棟蓼剤業務実施加算1 病棟薬剤業務実施加算2 データ提出加算 入退院支援加算 認知症ケア加算 せん妄ハイリスク患者ケア加算 精神疾患診療体制加算 地域医療体制確保加算 協力対象施設入所者入院加算 特定集中治療室管理料5 ハイケアユニット入院医療管理料1 小児入院医療管理料5 緩和ケア病棟入院料2 短期滞在手術等基本料1

▼特掲診療料 外来栄養食事指導料の注2に規定する基準 外来栄養食事指導料の注3に規定する基準 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規 定する遠隔モニタリング加算

たする協師とニタックが 解尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料口 がん患者指導管理料ハ がん患者指導管理料ハ がん患者指導管理料ハ ■ DPC 係数

糖尿病透析予防指導管理料 乳腺炎重症化予防ケア・指導料 婦人科特定疾患治療管理料 胃代替療法指導管理料 二次性骨折予防継続管理料 1 二次性骨折予防継続管理料 3 下肽的條所 28 無報報

連携充実加算 外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療 外未腫瘍化子療法診療法体制充実加算開放型病院共同指導料肝炎インターフェロン薬剤管理指導料

ェロン治療計画料

薬剤管理指導料 医療機器安全管理料1 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看 護・指導料の注2 在宅療養後方支援病院 持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動 する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グ ルコース測定 持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動 しない持続血糖測定器を用いる場合) 遺伝学的検査

遺伝学的検査 BRCA1/2遺伝子検査 先天性代謝異常症検査 HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)

ノ刊足) 検体検査管理加算(I) 検体検査管理加算(W) 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト ヘッドアップティルト試験 単線維筋電図 4

型 脳波検査判断料 1

ストーマ合併症加算

組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)(一次再建) 後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)

椎間板内酵素注入療法

緊急穿頭血腫除去術

脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術 背髄刺激装置植込術及び背髄刺激装置交換術

食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸 良垣縫合術(身が、損傷)(内戌鏡によるもの)、内戌鏡下育、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)。経皮的配動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)

カー)

大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

経皮的下肢動脈形成術

腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 腹腔鏡下直腸切除・切断術(切断術、低位前方切除術及び切断術に限る。)

(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)

周術期栄養管理実施加算 輸血管理料I

輸血適正使用加算

人工肛門·人工膀胱造設術前処置加算

胃瘻造設時嚥下機能評価加算

麻酔管理料(I) 麻酔管理料(Ⅱ)

周術期薬剤管理加算 保険医療機関間の連携による病理診断

▼**入院時食事療養** 入院時食事療養(Ⅰ)・入院時生活療養(Ⅰ)

▼その他の届出 酸素の購入価格の届出

看護職員処遇改善評価料

ベースアップ評価料 先進医療・内視鏡的胃局所切除術

DPC標準病院郡 基礎係数 1.0451 救急補正係数 0.0339 機能評価係数 I 0.4063 機能評価係数Ⅱ 0.0830

#### 機能

一 がある 地域医療支援病院、東京都災害拠点病院、東京都指定二次救急医療機関、東京都地域救急医療センター(東京ルール)、東京都 CCU ネットワーク加盟施設、 東京都脳卒中急性期医療認定施設、東京都肝臓専門医療機関、東京都区部災害時透析医療ネットワーク正会員施設、 東京都医師会母体保護法研修指定医療機関、東京都難病医療協力病院、臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定施設(一般病院 3rdG:Ver.2.0)、 一次脳卒中センターコア(PSC)、DPC(診断群分類別包括評価方式)、7:1 看護、紹介受診重点医療機関、東京都特定地域医療提供機関、臨床修練指定病院

#### ■ 認定施設等

日本内科学会教育病院

日本外科学会外科専門医修練指定施設

日本医学放射線学会専門医修練施設

日本医学放射線学会画像診断認定施設「MRI安全管理に関する事項」

日本麻酔科学会認定病院

日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設

日本脳神経血管内治療学会研修施設 日本整形外科学会専門医研修施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設 日本眼科学会専門医制度研修施設

日本腎臓学会研修施設

日本呼吸器学会認定施設 日本消化器病学会認定施設

日本循環器学会専門医研修施設

日本神経学会教育施設 日本糖尿病学会認定教育施設

日本呼吸器外科学会関連施設 日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設

日本乳癌学会認定施設

日本消化器内視鏡学会指導施設 日本高血圧学会認定研修施設 日本呼吸器内視鏡学会関連施設 日本透析医学会教育関連施設

日本周産期 • 新生児医学会周産期母体 • 胎児専門医補完研修施設

日本脳卒中学会認定研修教育病院 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本臨床細胞学会認定施設

日本超音波医学会専門医研修施設

日本臨床腫瘍学会認定研修施設 胸部ステントグラフト実施施設 腹部ステントグラフト実施施設

日本皮膚科学会皮膚科専門医研修施設

心臟血管外科専門医認定機構認定修練施設(関連施設)

日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設 National Clinical Database (NCD) 施設

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関

日本脈管学会認定研修関連施設 日本産科婦人科学会専門研修連携施設

日本肝臓学会認定施設

日本消化管学会胃腸科指導施設 日本胆道学会認定指導施設 日本血液学会認定血液研修施設

日本臨床神経生理学会認定施設 日本脊椎脊髄学会認定椎間板酵素注入療法実施可能施設

日本乳がん検診精度管理中央機構認定マンモグラフィ検診施設・画像認定施設

卒後臨床研修評価機構認定施設 大腸癌研究会認定施設

大腸肛門病学会認定施設 日本腹部救急医学会認定施設

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設 出生前検査認証制度等運営委員会認定 NIPT を実施する医療機関(連携施設)

#### ■ 選定療養費制度

他の医療機関からの紹介状(診療情報提供書等)をご持参でない場合、初診料の他に<u>選定療養費制度</u>に基づく特別の料金として7,700円(税込)を、また他の医療機関へ紹介させて頂いた後、紹介状をお持ちにならず再度当院の受診を希望された場合は再診時選定療養費3,300円(税込)を自費で別途ご負担頂きます。

# ■ 入院期間が 180 日を超える入院に関する事項

ご入院期間が180日を超えた日より、以下の金額が患者さまの負担になります。 急性期一般入院料1・・・1日につき2,728円(税込) 選定療養から除外される条件があります。詳しくは入院窓口にてお尋ねください。

### ■ セカンドオピニオン外来

料 金 30分毎に22,000円(税込) ※健康保険の適用となりませんのでご注意願います。 予 約 完全予約制 ※詳細については、医療連携室までご相談ください。

- **医療相談** 院内感染・医療安全でのご相談、療養上の心配なこと、お困りのこと等は、患者情報センターにてご相談ください。
- 地域医療連携体制 連携協定医師会:大森医師会・蒲田医師会・荏原医師会・田園調布医師会・品川区医師会
- 当病院は「急性期一般入院料1」を算定しています

	前帯 8:30~17:00	看護師1名が4人以内の患者さまを受け持ちます
夜	功帯 16:00~ 9:00	看護師1名が12人以内の患者さまを受け持ちます

### ■ 入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制及び褥瘡対策について

当院では、入院の際に医師をはじめとする関係職員が共同して、患者さまに対する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししております。また、厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制及び褥瘡の基準を満たしております。

# ■ 退院日の決定について

退院日については、医師の判断のもと決定し、家族、患者様ご本人に退院日をお伝えいたします。なお、ご本人の症状によっては、ご家族にお伝えする場合もあります。

#### ■ 診療明細書について

当院は、お支払いにおいて「自動精算機」をお使いいただくようになっております。

その際以下のように明細書を無料で発行出来るように対応しております。

- ・外来受診患者さまにおいては、自動精算機において、ご自分で発行の有無が選択できます。
- ・お支払いの無い患者さまにおいては、明細書の必要な方は、お近くの窓口にお声かけください。

#### ■ 差額ベッドについて (総額表示)

個室(2人室含む)を希望される方については、下記の個室から選択いただいております。

また、病状や空き状況により、ご希望に添えない場合がございます。病状により個室入室を医師が指示した場合は料金の徴収はいたしません。

病棟名	病棟名		個室 B • C	2 人部屋A・B・C		
3 階 病棟			302号·304号·306号·308号 312号	18,150円	310号•311号	10,450円
緩和病棟			314号•316号•318号		315号	13,200円
A FIELS			402 号 • 404 号 • 406 号 408 号 • 412 号 • 414 号 • 416 号	18,150円	410 号	10,450円
4 階 病棟					418号•419号	7,150円
אוינאי			417号•420号	14,300円	421 号 • 422 号	
5階			502号•504号•506号	18,150円	510号	10,450円
西病棟			508号•512号•514号•516号	10,10013	518号•519号	7,150円
			517号•520号	14,300円	0103 0103	1,10013
C DEF			522 号 • 524 号 • 526 号	18,150円	530 号	10,450円
5 階 東病棟			528号•532号•534号•536号	10,10013	538 号 • 539 号	7,150 円
未約休			537号•540号	14,300円	330 5 339 5	1,15015
6階			602号 • 604号 • 606号	18,150円	610号	10,450円
西病棟			608号•612号•614号•616号	10,10013	0,05	10,10015
6 階 東病棟			622号 • 624号 • 626号 628号 • 632号 • 634号 • 636号	18,150円	630 号	10,450円
7階 病棟	705号· 707号·709号	43,450円	702号·704号·706号 708号·712号·714号·716号	18,150円	710 号	10,450円

#### ■ 時間外加算等について

【休日加算】次のいずれかの午前6時から午後10時までの問

- (1)日曜日 (2)国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日
- (3) 1月2日及び3日並びに12月29日、30日及び31日

【深 夜 加 算】毎日午後10時から翌日の午前6時までの間

【時間外加算】土曜日(休日加算対象日を除く)の午前8時00分から正午までの間

【時間外特例加算】 (1) 土曜日(休日加算対象日を除く)の午前6時から午前8時00分までの間及び

午後〇時〇〇分から午後10時までの間

(2) 平日(休日加算対象日及び土曜日を除く)の午前6時から午前8時00分までの間及び午後6時から午後10時までの間

#### ■ 自費精算について

健康保険証をお忘れになった場合や、健康保険証手続き中で、診療日に保険証をご持参いただけなかった場合は、自費精算とさせていただいております。 なお、自費計算の場合は、保険点数 1 点につき 15 円(税抜)で計算させていただいております。なお、後日ご持参いただければ保険適応で計算いたしますが、診療日に保険の加入がない場合は、保険適応ができないため、その場合は自費での精算になります。

# ■ 交通事故で受診した場合の医療費について

- ▼当院では、当事者間の事故にかかわる処理問題には原則的には介入いたしません。
- ▼ 医療費については、原則として当日中にご本人にお支払いしていただいております。(当院から相手方や保険会社への請求はいたしません)
- ▼相手方、相手の保険会社にはご自分で連絡をお願いします。
- ▼お支払い方法は原則として自費(自賠責保険《非課税》)でお支払いいただき、領収書を発行いたしますので、相手方または、相手方の保険会社へ請求してください。
- ▼健康保険証または国民健康保険証を使用する場合は、第三者行為による被害の届出が必要です。市町村役場・保険組合に届けてください
- ▼仕事中の交通事故の場合は原則として自賠責保険を優先とします。希望によっては労災保険の使用も可能です。その際には様式5号(業務災害)・第16号の3(通勤災害)を提出してください。
- ▼ご不明な点は総合受付(医事課)までお訪ねください。

#### ■ 文書料一覧について (総額表示)

- XEAA FICTOR (MICROSOFT)					
文書名	金額	文書名	金額	文書名	金額
一般診断書(和文)	4,400 円	難病申請関係書類	5,500円	学童証明書(学校生活管理指導表等)	1,100円
一般診断書(英文)	11,000円	医療助成意見書(公費申請)	5,500円	医師連絡票(大田区病後児保育利用)	1,100円
生命保険診断書(和文)	8,800円	労災アフターケア診断書	6,600円	死亡診断書(届出用)	6,600円
生命保険診断書(英文)	11,000円	司法関係文書	6,600円	死体検案書	11,000円
通院証明書(当院様式 事務作成)	2,200 円	入浴サービス意見書	1,100円	成年後見人鑑定書(家庭裁判所)	55,000円
通院証明書(当院様式 医師作成)	3,300 円	老人ホーム入所診断書	3,300 円	各種証明書(事務)	2,200円
自賠責保険診断書	6,600円	医薬品副作用被害救済制度診断書	6,600円	料金証明書(確定申告、療養見舞金証明書)	2,200円
自賠責診療報酬明細書	6,600円	運転免許証更新時認知機能検査診断書	8,800円	英文料金証明書	3,300円
自賠責後遺障害診断書	11,000円	母子健康管理指導連絡カード	2,200 円	保険会社面談料	11,000円
交通災害共済診断書	6,600円	予定日証明書	3,300円	おむつ証明書	3,300円
各種年金診断書	8,800円	出生証明書(和文)	5,500円	診療明細書の再発行	1,100円
労働者災害補償保険診断書	4,400円	出生証明書(英文)	11,000円		
身体障害者診断書・意見書	8,800円	出産手当金証明書	2,200 円		
原爆診断書	5,500円	死産届	3,300 円		

#### ■ 診療記録開示について (総額表示)

診療記録開示手数料(複写) コピー1 枚 22 円/フィルム等 CD1 枚 2,200 円

#### ■ 療養給付外サービス料について (税込表示 ※は非課税価格)

当院では、以下の事項についてその使用料、利用回数に応じた実費の負担をお願いしております。

掲示名	金額	掲示名	金額	掲示名	金額
食事用エプロン	62円	分娩セット※	8,000円	乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン	6,600円
おしりふき	286円	分娩セット(助産)※	7,000円	ビームゲン 5 μ g / O. 25m l (B 型肝炎)	6,773円
女性用パンツ	387円	プレママクラス※	1,100円	ビームゲン 10μg/0. 25ml (B型肝炎)	7,059 円
テープ式オムツ	248円	ベビーキャップ※	206円	ジェービックV(日本脳炎)	8,128円
ナプキン	307円	ベビーおしりふき※	260円	乾燥弱毒性水痘ワクチン	8,800円
尿取りパッド	59円	新生児用オムツ※	32円	破傷風アクトヒブ	8,800円
おむつパッド	75円	テキスト(母親教室)※	500円	肺炎球菌ニューモバックスNP	11,000円
紙おむつ	157円	患者衣(死亡用)	5,238 円	プレベナー13 水性懸濁	12,579円
頻便パッド	62円	エンゼルセット	6,600円	テトラビック皮下注シリンジ(四種混合)	12,980円
ポスパック B※	330円	ハイドロキノンクリーム 5%5 g	1,100円	二種混合(麻疹・風疹)ミールビック	13,200円
ポスパック K-70※	258円	VC-Dローションベーシック 55mL	4,950 円	ガーダシル水性懸濁注シリンジ	19,470円
ユーケアーDー20※	180円	Shinso Lift Essence	40,700円	ロタリックス(1.5mL/本)	14,666 円
妊婦紹介状※	3,000円	Shinso Lift Mist (ミスト)	25,300 円	USBメモリー(4Dエコー用)※	2,000円
マジック帯※	3,082円	Shinso Glow(ピーリングタイプ)	22,000円	拡大新生児スクリーニング検査※	5,000円

#### ■ 入院時食事療養(I)について

当院は、入院時食事療養(I)の届出を行っており、管理栄養士による管理の下に、食事を適時(夕食については午後6時以降)適温にて提供しています。

#### ■ 妊婦健診割引券の使用について

令和5年度妊婦健診割引券の割引額は以下のとおりです。

① 水色割引券(初回 検査): 10,980円 ②黄色割引券(2回目以降): 5,140円 ③白色割引券(超音波検査): 5,300円 妊婦子宮頸がん検査実施にあたり妊婦健診割引券を併用しない場合に3,400円を窓口負担とさせて頂きます。また、妊婦中期超音波検査(経腹+経膣超音波)実施にあたり、妊婦健診割引券を併用しない場合に、白色割引金額分を窓口負担とさせていただきます。なお、母子手帳をまだお持ちでない場合での検診・検査等での妊婦検診割引券は、検診された日までに母子手帳を受け取らなければ割引券が使用できません。

#### ■ 新生児聴覚検査について

新生児聴覚検査受診票(甲)に対する割引額は3,000円となります。

#### ■ 分娩件数等

年間分娩件数(令和6年1月~令和6年12月)	379件
産科病棟 配置産婦人科医数(令和6年1月現在)	5名
産科病棟 配置助産師数(令和6年1月現在)	31名

# ■ **手術の実施件数一覧**(医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術)

(期間:令和6年1月~令和6年12月)

区分1に分類される手術 ア. 頭蓋内腫瘤摘出術等・・・・・ 11件 イ. 黄斑下手術等・・・・・・ O件 ウ. 鼓室形成手術等・・・・・・ 〇件 工. 肺悪性腫瘍手術等・・・・・ 63件 オ. 経皮的カテーテル心筋焼灼術・・ 32件

区分2に分類される手術

ア. 靭帯断裂形成手術等・・・・・ 11件 イ. 水頭症手術等・・・・・・ 27 件

ウ. 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等・・・・ 〇件 工. 尿道形成手術等・・・・・・ 61件 オ. 角膜移植術・・・・・・・ 〇件

力. 肝切除術等・・・・・・・ 6件 キ. 子宮附属器悪性腫瘍手術等· · O件

区分3に分類される手術

ア. 上顎骨形成術等・・・・・ 〇件 イ. 上顎骨悪性腫瘍手術等・・ 〇件

ウ. バセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉)・・ 〇件

工. 母指化手術等・・・・ 〇件 オ. 内反足手術等・・・・ 〇件 力. 食道切除再建術等•••〇件

丰. 同種死体腎移植術等・・・○件

区分4に分類される手術

ア. 胸腔鏡又は腹腔鏡を用いた手術・・・425件

#### その他に区分される手術

- ア. 人工関節置換術・・・・・・・・・・・・・・・・24件
- イ. 乳児外科施設基準対象手術・・・・・・・・・・・・・・・ 件
- ウ. ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカ-含む)・・・・・・・・・・・・42件
- エ、冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺をしないものを含む)及び体外循環を要する手術・・・39件
- 才. 経皮的冠動脈形成術・・・・・・・・・・・・・54件

急性心筋梗塞に対するもの・・5件

不安定狭心症に対するもの・・・8件

※アテレクトミーカテーテルによるもの 8件

その他のもの・・・・・・・33件

力. 経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術・・・212件

急性心筋梗塞に対するのも・・・ 26件 不安定狭心症に対するもの・・・ 25件 その他のもの・・・・・・・ 161件

# ■ 臨床教育について

当院は、臨床指定病院となっておりますので、臨床研修医の研修を行っております。 また、薬学部学生、看護学生、リハビリテーション学生の実習病院となっており、学生が関わらせていただくことがございます。 ご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### ■ 個人情報について

# 日本赤十字社における 個人情報の取り扱いについて

日本赤十字社は、赤十字運動が皆さまの多大なご支援とご協力の下に成り 立っていることを深く認識し、個人の人格を尊重する理念の下、業務上に知 り得たすべての個人情報を下記のとおり取り扱い、皆さまの信頼に応えてい きます。

記

#### 1.個人情報の利用目的明示と使用について

日本赤十字社が個人情報を収集する場合には、必ず利用目的を明示し、皆 さまご自身の意思の下に情報をご提供いただきます。また、ご本人の承諾 がない限り、利用目的以外に個人情報を使用することはありません。

2.個人情報の第三者提供について

個人情報はご本人の承諾がない限り、第三者に提供することはありません。 なお、特定個人情報については、この限りではありません。

3.個人情報の開示、訂正、追加または利用停止(削除)について お申し出があった時は、ご本人であることおよびその理由を確認し、登録 された情報の開示、訂正、追加または利用停止(削除)を行います。

4 適用除外について

日本赤十字社は皆さまの個人情報を上記のとおり取り扱いますが、(1) 法令に定めがあるとき、(2)本人または第三者の生命、身体または財産 の保護のために必要がある場合であって、緊急かつやむを得ないときのい ずれかに該当するときは、上記の取り扱いを適用しない場合があります。

5.関係法令、ガイドライン等の遵守について

個人情報保護法、特定個人情報の取り扱いに関する法令および関係ガイド ライン等にのっとり、個人情報を適正に取り扱います。

6 個人情報の安全管理について

日本赤十字社は皆さまからお預かりした個人情報について、漏えい、滅失 またはき損を防止するために、日本赤十字社の保有する個人情報保護規程 ほか、社内規程に基づき厳重な安全管理対策を実施します。

なお、業務遂行上、やむを得ず個人情報の取り扱いを外部に委託する場合 には、日本赤十字社の監督の下で十分な安全対策が確保できる業者と契約 を締結の上、委託します。

7.お問い合わせについて

日本赤十字社における個人情報の取り扱いに関してご質問などがある場 合は、当院の「医事課」または「総務課」までご連絡ください。

# 当院は患者さんの個人情報保護に 全力で取り組んでいます

当院は、個人情報を下記の目的に利用し、その取り扱いには細心の注意を払っています。 個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

当院における個人情報の利用目的

1. 医療の提供

□当院での医療サービスの提供

口他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携

□他の医療機関等からの照会への回答

□患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合

□検体検査業務の委託その他の業務委託

口ご家族等への病状説明 口その他、患者さんへの医療提供に関する利用

2. 診療費請求のための事務

□当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託

□審査支払機関へのレセプトの提出

□審査支払機関又は保険者への照会

□審査支払機関または保険者からの照会への回答

□公費負担医療に関する行政機関へのレセプトの提出、照会への回答

□その他、医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する診療費請求のための利用

3. 当院の管理運営業務

□会計・経理 口医療事故等の報告 口当該患者さんの医療サービスの向上

口入退院等の病棟管理 口その他、当院の管理運営業務に関する利用

4. 企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知 医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談

または届出等 6. 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

7. 当院内において行われる医療実習への協力

8. 医療の質の向上を目的とした当院内での症例研究

9. 外部監査機関への情報提供

10. 院内がん登録への利用、国および東京都へのがん登録にかかる情報提供

11. 日本赤十字社および日本赤十字社東京都支部への情報提供

1 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出ください。

お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。 これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等をすることが可能です。

# ■ 院内のご案内





# 5F



# 4F



# 3F



# 救急医療機関 東京都接生工業急逐級機関 (成定期間: 487年3月31日8 で) 東京都















